

## 第 212 回 MINERVA ビジネスプラン発表会

【令和元年 11 月 12 日(火) 開催 会場: 岩崎学園 (新横浜 1 号館 8 階)】

### 1. 株式会社イーシステム 代表者 中村 秀樹 氏 (<http://www.esyst.co.jp/>)

【住所】 富山県富山市長江新町 2-1-36 【設立】 2004 年 12 月 【資本金】 5,000 千円

【事業概要】 山は凹凸があるから面白いのですが、凹凸に真正面から向き合った山ファン納得のアプリがないので、2017 年開発を開始しました。登山人口は約 650 万と巨大。5 年後に 20 万ユーザーが目標。月額 350 円×20 万ユーザー(登山人口の 3%)で 8 億 4 千の年商を目指しています。

【コメント】 山岳事故の中で遭難は右肩上がりの状況。その原因としては地形の把握不足による道迷いが約 40%にもなります。登山の楽しさの最大化、遭難などのリスクの最小化を図るため、このビジネスを考案されたそうです。今後は既存の山アプリと補完し合う方向で開発をし、AI や SNS 技術も実装出来ないか、また「e 登山」という新しいジャンルを確立出来ないかと模索されているそうです。



### 2. 株式会社丸和製作所 代表者 柴田 豊 氏 (<http://www.maruwa-ss.co.jp/>)

【住所】 宮城県大崎市三本木音無字岩井 8-1 【設立】 2009 年 11 月 【資本金】 425,050 千円

【事業概要】 「製造系研究開発型ベンチャーのためのベンチャー」を標榜し、ベンチャー・中小企業・個人・大企業の新しい技術・アイデアの製品化にチャレンジしています。本社「三本木テクニカルセンター」には、協力会社ネットワークに加え、国内外の複数企業が集まり「共創」が始まっています。今後は、これまで FPC 製造で培った製造技術に加え、協力会社の要素技術を終結させる事で新しい価値を創造し、事業拡大を目指しております。

【コメント】 本来、ベンチャーキャピタルがベンチャー企業に対して金融面で支援しているような支援を同社は製造面から支援させて頂きたいとおっしゃっておりました。具体的なベンチャーチャレンジ事例としては、①ウエハーサポーター向け FPC 事業(推定 2 億枚/年)、②触覚 DEVICE 事業(ターゲット市場として 20 億台)があり、東北地区中心の「共創」ネットワークで取り組んでおられるそうです。

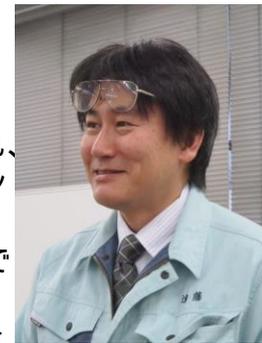


### 3. Fast Space株式会社 代表者 遠藤 達也 氏

【住所】 東京都町田市南町田 3-37-21 パリハイツ 203 【設立】 2018 年 12 月 【資本金】 2,000 千円

【事業概要】 風力発電に弊社独自の 3 つの新技术を適応することにより、風力発電コストを 7 年後までに半減します。本年度は NEDO 殿の研究開発の委託事業に会川鉄工(株)、JAXA と共同研究にて採択され、新構造のタワーの軽量化・低コスト化の研究を開始しました。今後は順次、軽量ブレードや大型エアベアリングの開発を実施していく予定です。

【コメント】 現在、日本での風力発電のシェアは 0.6%しかないそうです。それに対してスペインは 30%。海外では低コスト化に向け、大型化されてきているので、将来は海外で展開していきたいとおっしゃっておりました。今後、技術開発を進めていく上で、機械設計、構造設計の元図を設計したことのある経験者の方を採用したいとアナウンスされておりました。



### 4. 有限会社シングレット開発 代表者 長嶋 誠

発表者 技術顧問 鈴木 秀雄 氏、取締役相談役 佐藤 英哉 氏

(<https://singlet.jp>)

【住所】 千葉県白井市根 661-2 【設立】 2010 年 4 月 【資本金】 6,000 千円

【事業概要】 光と色素で操るスーパーオキシライフ～感光色素による色素触媒技術～感光色素と云う機能性色素の膜相を形成し、気中の酸素と接触により善玉の活性酸素(一重項酸素)に変換させる特許技術です。大気中の約 21%の酸素又は工業用酸素 100%の純酸素を使用することにより、対象物に害を及ぼさない励起酸素を創出できる技術は衛生用品・医療機器・畜産保全・水質浄化と保全・大気汚染や水質・土壌等の環境改善等へ、世界で抱える諸問題をグローバルに対応できます。2020 年の節目にこの利用技術を多角的に実用化するために、インクジェット塗装とインク化を進め、迅速な商品化が出来る 3D プリンターの採用と組み立てロボットの導入を早期に実現し、初段の 3 年間で収益目標の実現を目指します。

【コメント】 具体的な事例を挙げると身体に優しい抗菌効果を有する商品として、増感色素触媒で滑りや細菌などを抑制する浴槽用マット『Oxy Blue Matt』を商品化されたそうです。この商品は自宅だけではなく、プールや公衆浴場に市場拡大を狙うことが出来ます。その他にも室内カーテン、不織布マスク、患者用シーツや下着など、用途としては多様に展開が出来るそうです。



【感想】 今回も様々な分野の企業に御発表頂きました。いずれの企業も新しいマーケットを開拓していこうとされており、今後の展開が楽しみです。もし今後、発表会での発表をご希望される企業がいらっしゃいましたら、お早目にご連絡をお願い申し上げます。

NPO 法人ベンチャー支援機構 MINERVA  
(株) TNP パートナース、(株) TNP オンザロード  
(株) TNP スレッズオブライト  
井汲 美樹